

浜松市文化財情報

ひとつの浜松～戦国の城を結ぶのろしレーと城跡見学会～

日時 / 10月25日 (日) 10:00～
会場 / 市内の主な城跡

心配した前日までの大雨もあがり、水窪町ヒョー越峠での鈴木市長の点火を皮切りにスタートした「のろし」は、犬居城・二俣城・三岳城など30余の城を経て三ヶ日町本坂峠まで、「ひとつの浜松」の思いをつないでいきました。発煙筒を用いた「のろし」でしたが、遠くにみえる城跡からあがる「のろし」を確認できた感動は大きく、参加者から今後も行いたいとの声が多く寄せられました。のろしレーに合わせ、主な城跡では見学会も行われ、多くの人で賑わいました。



中日新聞(朝刊)
H21.10.26
ヒョー越峠での点火式で、市長が「のろし」を掲げるようすが掲載されました

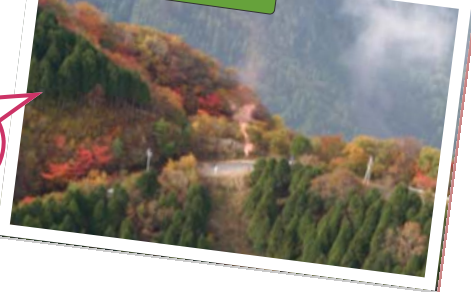
浜松の30カ所りレー

◆空からのろしを追跡!

モーターグライダーからの「のろし」空撮写真の一部をご紹介します。雲に覆われ見えなかった地点や、点火のタイミングが合わなかった地点などもありましたが、多くの地点でのろしを確認することに成功しました!

(空撮写真提供：
ヤマハソアリング
クラブ)

竜頭山



佐久間・春野地点では確認できず...
上空からはバッチリ!

秋葉神社と社



光明山からも確認できました。

烏羽山城



浜松城からは確認できず、残念!!

竜ヶ石山のろし台



大勢の参加者により、見事にあげられました!

尉ヶ峰



のろしを細江・引佐から三ヶ日に...

高山見張り所



千頭峯城や鯉山砦などから上がるのろしを確認!

千頭ヶ峯城



大勢の見学者がありました

◆城跡見学会や主なポイントの様子

■ヒョー越峠点火式



のろしりレーの出発点であるヒョー越峠「峠の綱引き合戦会場」で綱引き合戦に先立ち、鈴木康友浜松市長による点火式が行われました。当日は霧で見晴らしは良くありませんでしたが、飯田市、浜松市から集まった多くの皆さんが見守る中で、盛大に行われました。

■高根城・鶴ヶ城・ヒョー越峠バス見学ツアー



高根城～ヒョー越峠～鶴ヶ城を中型バスで巡るコースには、24名のみなさまに参加していただきました。

高根城からは大津山の「のろし」を確認することができず残念でした。城跡の見学は、織豊期城郭研究会の加藤理文先生に分かりやすく説明していただき、「有意義だった」「また参加したい」と好評をいただきました。



写真上：高根城を説明する加藤理文先生
写真左：鶴ヶ城跡見学のようす



写真右：高根城でのろしをあげました

■二侯城・鳥羽山城見学会



二侯観光ボランティアの会の皆さんの協力をいただき、城跡フェスティバル会期中に7回の見学会を開催しました。いずれの回も県内外から大勢の歴史ファンの参加者がありました。鳥羽山城で県内の城郭では最大級の大手道、天守曲輪、野面積みの石垣などを見学後、二侯城に移動し、天下の堅城といわれた二侯城の地形、曲輪、土塁、堀切、野面積み石垣などを見学しました。復元された二侯一夜城も見学でき、見学者からは参加してよかったとの声が多く聞かれました。



■井伊氏ゆかりの史跡・城めぐりと井伊家赤備え



井伊氏発祥の地、北区引佐町井伊谷の井伊共保出生の井戸前でイベントを行いました。150人を超える見学者が見守る中、龍潭寺住職を先頭に甲冑に身を固めた武者が入場し、井伊直政ゆかりの赤備えを披露しました。そして、「のろし」を合図に武者たちが勝どきを上げると、地元若宮太鼓一心会による勇壮な演武が行われ、見学者からは大きな拍手が起りました。

その後、参加者は、ボランティアガイドの解説を聞きながら、井伊氏ゆかりの史跡（渭伊神社・井伊谷宮・井伊城跡・二宮神社・足切観音堂）や古代井の国を想像させる北神宮寺遺跡や天白磐座遺跡を見学し、1700年にわたる井伊谷の歴史の奥深さに驚いていました。

